

症例検討会のお知らせ

<神経内科>

演題：脳卒中症例
日時：平成30年6月27日（水） 19:30~21:30
会場：多摩北部医療センター 2階大会議室
演者：多摩北部医療センター 神経内科医長 神谷 信雄

お申し込みは、
当院の地域医療連携室
にご連絡ください。

6月 市民公開講座のお知らせ

演題：婦人科がん診療・解説シリーズI 子宮体（たい）がん
日時：平成30年6月22日（金） 14:00~15:30
会場：東久留米市民プラザホール（東久留米市役所内）
演者：多摩北部医療センター婦人科部長 工藤 一弥
参加費：無料
定員：100名
※予約不要。直接会場にお越しください。

紹介・予約のご案内

患者さんのご紹介にあたっては「紹介状（診療情報提供書）」と「受診科のご予約」をお願いいたします。また、紹介状には受診科の明記をお願いいたします。初診時に紹介状が無い場合は、診療費の他に選定療養費として1,338円（税込）が加算されます。

予約センター

予約専用電話:042-396-3190-3511

予約受付時間：月～金曜日 9時～19時・土曜日 9時～12時
※お急ぎや受診予約希望や、受診に関してご相談等の場合は、地域医療連携室までご連絡ください。
(受付時間：月～金曜日 9時～17時)

各種検査予約

代表電話番号:042-396-3811

放射線

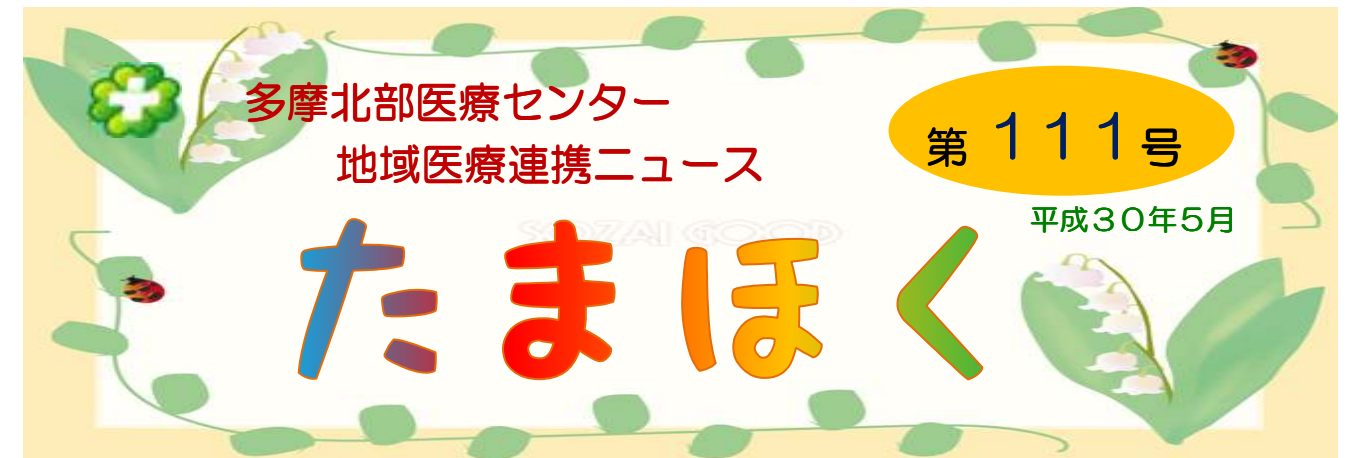
代表番号より下記へご連絡願います。(受付時間：月～金曜日 9時～17時)
CT・一般X線検査：内線 2236 MRI 検査：内線 2600
核医学検査：内線 2140 放射線治療：内線 2073・2169

内視鏡

予約センター又は地域医療連携室へご連絡の上、「内視鏡外来(金曜午後)」のご予約をお願いいたします。なお、内視鏡外来は、紹介予約制とさせていただきます。



《 地域医療連携ニュース「たまほく」に関するお問合せ 》
地域医療連携室 042-396-3811 内線 2073



近年、重症低血糖で心血管イベントや認知症発症のリスクが上昇する報告が相次ぎ、重症低血糖の危険性がより認識されるようになりました。重症へ至る前には軽症の段階があるわけで、低血糖を生じない治療の重要性も浸透し、なるべく低血糖を生じにくい薬剤を選択し、HbA1c 7%未満という合併症予防のための目標値も大切ですが低血糖を生じないことがより優先されるようになりました。

最新のアメリカ糖尿病学会の提示では、重症低血糖の定義は「低血糖の回復に他者による介助が必要な重度認知機能障害に関連する低血糖」とあります。(これは血糖値によりません。)自力で血糖を回復できない意識状態では、そのまま致命的になったり脳に大きな障害を残す可能性がありますので、重症低血糖の際は速やかな処置が必要です。

では、重症でない低血糖はいかがでしょうか。ブドウ糖を内服しないで自らのカウンターホルモンで血糖値を回復した場合は大丈夫でしょうか。

若い人の場合は、動悸や発汗があっても仕事の継続ができる場合もあり、たとえ不安症状や振戦があっても、やり切ってしまう方もいます。(もちろん、ブドウ糖をすぐ内服していただくことが第一です。)しかし、高齢者ではカウンターホルモンの過剰分泌症状に耐えられず苦痛で動けなかったり口を閉ざしたりという状態に陥ることがよくあります。動悸を訴えなくても急な血圧上昇を認めることもあります。低血糖を自力で回復させたとしても、一過性ながら高度機能障害を生じ、回復までかなりの時間を要して認知症と思われた例もあります。一過性高次機能障害の症状は多彩で、時に不穏や異常行動として発現し、本人だけでなく周囲のQOLを著しく落とします。また、低血糖にまで至らない場合でも、落差(変動)が大きいと、高齢者では認知能の低下をしばしば認めます。

従って特に高齢者では、好ましいQOL達成のためには低血糖回避は勿論のこと血糖変動を小さくすることにも十分留意して、投薬を選択し食事生活指導を行うことが大切です。

前身が東京都多摩老人医療センターであった当院では、既に15年以上前の診療の中で現在の超高齢社会のモデルケースとなる症例を見てきました。家庭内の行き違いや社会性の問題による精神的ダメージから食事服薬がうまくいかなくなり、コントロールが悪化するケースも多く、治療法だけでなく、どこまで介入すべきか、あるいはできるのかについて常に悩

(中面へ続く)

(前面からの続き)

みます。複雑な事象の絡み合いは、結果として低血糖や認知症のリスクを上げる状況を生み、悪循環を形成します。これには医療機関のみでは到底太刀打ちできません。地域に根付いた実行力のある包括的ケア体制が益々必要となっています。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



多摩北部医療センターのがん医療

副院長 高西 喜重郎

日本人の二人に一人が罹患するがんに対して、多摩北部医療センターでは重点医療と位置付けて地域医療への貢献を果たして参ります。血液のがん、脳、耳鼻咽喉頭（内視鏡診断）、乳腺、食道（化学放射線療法）、消化管、肝胆膵、泌尿器、婦人科領域、歯科口腔がんなど多くのがんに対する診断と集学的治療が可能です。治療は地元で受けられることを心掛けて、これからもがん診療基盤を強化して参ります。

当院で実施しているがん医療

- 【がんの診断】消化管・胆膵がんに対しての内視鏡・超音波内視鏡、CT・MRI、マンモグラフィなど早期診断に欠かせない先進的な診断機器を整備しています。
- 【放射線治療】強度変調放射線治療（IMRT）、頭部定位放射線治療（SRI）、画像誘導放射線治療（IGRT）などの高精度放射線治療、前立腺がん密封小線源治療、RI 抗体標的療法などの高度な技術を要する治療が可能です。
- 【低侵襲化をめざした手術療法】早期胃がん、大腸がんに対する内視鏡の治療、腹腔内すべてのがんに対する開腹手術に加え、腹腔鏡下手術を提供できる体制が整いました。
- 【チーム医療】がんと診断がついた時点から院内の全部署が協働して、患者さんのさまざまな状況に対する支援体制を構築しています。



新任医師の紹介

NEW

診療科	役職	名前	得意(専門)分野・手技等
消化器外科	医長	ヤマダ タクジ 山田 卓司	腹腔鏡下手術、臨床栄養、治療内視鏡
リウマチ・膠原病科	医員	ミヨシ ユウジ 三好 雄二	リウマチ膠原病一般
循環器内科		ナガオカ ノブユキ 長岡 宣幸	循環器内科一般
消化器内科		キリタ クミコ 桐田 久美子	消化器病一般、消化管EMR・ESD
血液内科		カウ ユタカ 加藤 豊	血液内科(血液腫瘍の化学療法、造血幹細胞移植、全身管理、緩和医療)
小児科		ソネダ キョウコ 曾根田 京子	小児科一般
小児科		イトウ フミュキ 伊藤 史幸	小児科一般
整形外科		ササキ ケン 佐々木 研	整形外科(上肢)
整形外科		ウド ミオ 宇土 美於	人工関節や関節鏡手術など
整形外科		イケダ タツノブ 池田 達宣	整形外科

※常勤医師のみ掲載



地域医療連携担当副院長より



日頃から、連携医の先生方をはじめスタッフの皆様には、大変お世話になっております。東京オリンピックの先の 2025 年に向けた地域医療構想や地域包括ケアシステムの構築が進められる中、多摩北部医療センターの mission は、地域の急性期医療を担う医療機能の充実・強化を図るとともに、地域包括ケアシステムの構築を支援することにあります。

現在、当院では、地域ニーズの高い在宅患者の急性増悪時の受け入れなど、在宅療養後方支援病院としての機能を充実させ、連携施設との協働による Patient Flow Management を用いた入院早期からの退院支援を進めています。また、周術期や高齢者医療に必須である入院前からの適切な口腔ケア、栄養サポート、リハビリテーションの介入により医療の質を高めるとともに、これらが退院後も地域において継続的に行える体制を皆様とともに構築して参ります。

医療技術向上のために、多摩メディカルキャンパス構想における医療機関との連携により、教育・研究活動を活性化させ、また、人員交流やウェブカンファレンスによる診療連携により、標準的からやや先進的な医療技術の提供を進めて参ります。

2025 年の急性期機能の自構想区域完結率は 64.2%と見込まれていますが、適切な高度急性期、急性期医療を居住地域内で受けられるよう、特にがん医療、救急医療を重点医療とし、さらに行政的医療として脳卒中医療、小児医療、災害医療に取り組んで参りますので、ご活用いただければ幸いです。皆様のお力添えにより、平成 28 年度紹介率は 62.9%、逆紹介率は 86.9%でございました。また、何かお気づきの点がございましたらご遠慮なくご指摘いただけるようお願い申し上げます。

高西 喜重郎



退職情報

お世話になりました!

診療科	役職	名前	退職日
脳神経外科	部長	オカダ タカハル 岡田 隆晴	平成30年3月31日付
リウマチ・膠原病科	医長	ナガイ ヨシキ 永井 佳樹	平成30年3月31日付
循環器内科	医員	カニサワ ミツル 蟹沢 充	平成30年3月31日付
循環器内科		キム アソン 金 児盛	平成30年3月31日付
消化器内科		ホシカワ ヨシマサ 星川 吉正	平成30年3月31日付
小児科		ナガクラ アキト 永倉 暁人	平成30年3月31日付
整形外科		スズキ シロウ 鈴木 志郎	平成30年3月31日付
整形外科		ウオミズ マリ 魚水 麻里	平成30年3月31日付
整形外科		モトハシ マサタカ 本橋 正隆	平成30年3月31日付

※常勤医師のみ掲載

